PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 01295599 A

(43) Date of publication of application: 29 . 11 . 89

(51) Int. CI

H04R 9/04 H04R 9/04

(21) Application number: 63127388

(22) Date of filing: 23 . 05 . 88

(71) Applicant:

PIONEER ELECTRON CORP

(72) Inventor:

MURAYAMA FUMIO

ANDO TOMIAKI

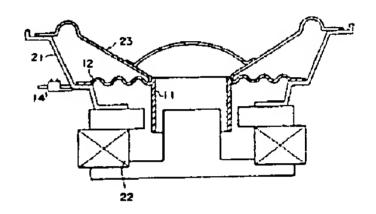
(54) SPEAKER UNIT

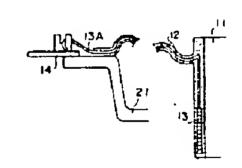
(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain a speaker unit with excellent water-proof and water-tight performance in terms of material and structure by using a plastics so as to form a damper and a voice coil integrally.

CONSTITUTION: A flange shaped damper 12 spread from the vicinity of one end of a voice coil bobbin 11 is formed integrally by a plastics with corrugation. Both ends of a voice coil 13 are leads 13A having a gold thread function and subjected to insert forming in the inside of corrugation of the damper 12 integrated with the voice coil bobbin 11 and the lead 13A led externally is connected to a terminal 14 provided to a speaker frame 21. Thus, the structural water- proof performance is provided and water-proof is given to the gold thread wire to form an inexpensive speaker unit.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio





JA 0295599 NOV 1939

(54) SPEAKER UNIT

(11) 1-295599 (A) (43) 29.11.1989 (19) JP

(21) Appl. No. 63-127388 (22) 23.5.1988

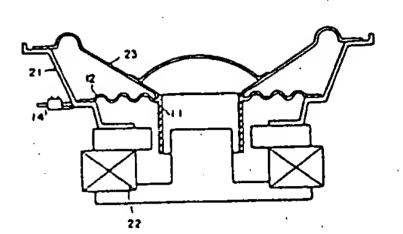
(71) PIONEER ELECTRON CORP (72) FUMIO MURAYAMA(1)

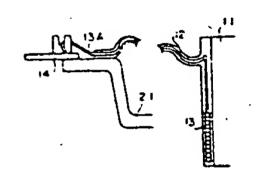
(51) Int. Cl'. H04R9/04

PURPOSE: To obtain a speaker unit with excellent water-proof and water-tight performance in terms of material and structure by using a plastics so as to

form a damper and a voice coil integrally.

CONSTITUTION: A flange shaped damper 12 spread from the vicinity of one end of a voice coil bobbin 11 is formed integrally by a plastics with corrugation. Both ends of a voice coil 13 are leads 13A having a gold thread function and subjected to insert forming in the inside of corrugation of the damper 12 integrated with the voice coil bobbin 11 and the lead 13A led externally is connected to a terminal 14 provided to a speaker frame 21. Thus, the structural water-proof performance is provided and water-proof is given to the gold thread wire to form an inexpensive speaker unit.





19 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

平1-295599 ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

⑤Int. Cl. ⁴

識別記号

庁内整理番号

❷公開 平成 1 年(1989)11月29日

H 04 R 9/04 105

B-7046-5D

7046-5D

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

◎発明の名称

スピーカユニツト

Ш

②持 昭63-127388

多出。 Ħ 昭63(1988)5月23日

伊発 明 者 村 文 雄

山形県天童市大字久野本字日光1105番地 東北バイオニア

株式会社内

⑫発 安

Ø 昭 山形県天童市大字久野本字日光1105番地 東北バイオニア

株式会社内

パイオニア株式会社

東京都目黒区目黒1丁目4番1号

②代 理 人 弁理士 小橋 信淳

外1名

- 1. 発明の名称
- 2.特許請求の範囲
- (1) 少なくとも、グンパとポイスコイルポピンを 構えるスピーカユニットにおいて、ダンパとポ イスコイルとがプラスチックスにより一体成形 .されて構成されたことを特徴とするスピーカユ ニット。・
- (2) 少なくとも、ダンパと、ポイスコイルポピン を備えるスピーカユニットにおいて、ダンパと ポイスコイルポピンとがアラスチックスにより 一体成形されていて、ポイスコイルポピンには 巻装されたポイスコイルがインサートされて橋 成したことを特徴とするスピーカユニット。
- 3.発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

この死明はスピーカユニットに関し、さらに詳。 しくは、アラスチックス成形により肋水性を向上。 させたスピーカユニットに関する。

【従来の技術】

従来知られているスピーカユニット、とくに防 ・ッフル仮の表面に露出する段動部村の村料に防水、 耐水性材料を選択し、凝熱板の技能はキャピネッ トに防水や耐水性をもたせることで構造上の防水 住や耐水性を期待している。

【死明が解決しようとする課題】

上述のような防水型スピーカユニットは、各部 村自体に防水性のある材料を選ぶ必要があるから、 材料費自体がコストアップして製品全体を高値な ものにしている。

さらに、ポイスコイルに彫動電流を供給する塩 条線の防水対策がきわめて困難である。

そこで、この死明は最も原循であるアラスチャ クス材料を用いて、構造上の防水性を与えると共 に、併せて降糸線に対しても防水性をもたせて推 値なスピーカユニットを提供しようとするもので 86.

【無題を解決するための手段】

上述のような目的を達成するために、この発明はゲンパとポイスコイルとがブラスチャクスにより一体成形されていて、ポイスコイルポピンとがプラスチャクスにより一体成形されていて、ポイスコイルポピンには特殊されたポイスコイルがインサートされて構成したことを特徴とするものである。

【実 施 例】

以下、この発明の実施例を第1回ないし、第3回に沿って説明する。これらの回において符号11はポイスコイルポピンを示し、このポイスコイルポピン11の一幅部近くから周縁に拡がるフランジ状のダンパ12がコルゲーションを作って一体的にプラスチックスにより成形されている。

とくに、ポイスコイル13はポイスコイルボビン 11の一体成形的に干め着かれたものがインサート 成形され、ポイスコイル13の両端部は解系線機能

バとがプラスチックスにより一体成形されている から、村貫的にも構造的にも防水、耐水性に優れ たスピーカユニットを得ることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1回はこの発明によるスピーカユニットの断面図、第2回は第1回の一部拡大断面図、第3回 はさらに他の実施例を示す一部拡大断面図である。

11…ポイスコイルポピン、12…グンパ 13…ポイスコイル、13 A … 厚雅、14…塩子 21…スピーカフレーム、22… 磁気回路。

特許出願人 パイオニア株式会社

代理人 弁理士 小 鈎 С 淳

同 护理士 村井 遵

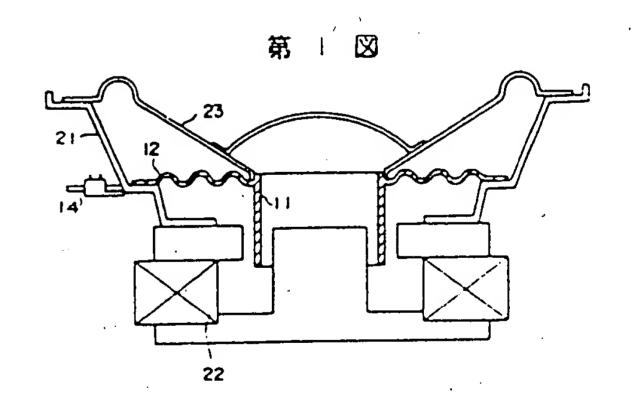
をもつ神報 13 A となってポイスコイルポピン!!と ー体のダンパ 12のコルゲーション内部にインサー ト政形され、外部に専出された神報 13 A はスピー カフレーム 21に致けてある増子 14に接続されてい る。

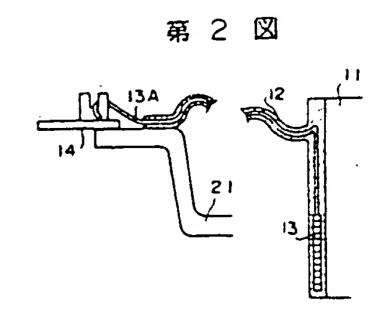
これらの団において符号22は酢紀スピーカフレーム21に取付けられた磁気回路を示し、この磁気回路を示し、この磁気回路22のエアギャップ中に酢紀ポイスコイルボビン11にインサートされているポイスコイル13が位置しており、ポイスコイルボビン11の一端部にはコーン最勤収23の内間緑が固定され、コーン最勤収23の外間増齢はスピーカフレーム21にそれぞれ固定されている。

また、ポイスコイル13をポイスコイルポピン11の外側に巻装し、導線13Aをコーン援動板23上に 沸いて地子14に接続してもよい。

【発明の効果】

以上の政明から明らかなように、この発明のスピーカユニットは、ポイスコイルポピンと、グン





第 3 図

